

関西学院大学「ハンズオン・プラクティス」に講師を派遣 ～ 信用金庫の社会的使命や組織と個人の多様性をテーマに白熱討論 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、12月8日（金）、関西学院大学（本部 西宮市、学長 森康俊）のハンズオン・ラーニングセンターが開講する「ハンズオン・プラクティス」プログラムに、春学期に続いて講師を派遣しました。

本プログラムは、金融・情報・製造・建築などの幅広い分野からゲストスピーカーを招き、学生たちがゲストスピーカーとの対話を通じて「大学生が身につけるべき学びは何か」「社会の一員として何に向き合うのか」等、学び方を学び、考える力を養う教育プログラムです。

当日は、組織と個人の多様性をテーマに、信用金庫の社会的使命や地域団体との連携、企業への課題解決支援事例を題材に学生と討論しました。

当金庫はこれまでも、地元大学等での寄付講座・セミナーの開催、インターシップの受け入れなど、教育活動を通じた地域貢献活動を行ってきました。今後も大学等との連携を図り、地元大阪の将来を担う人材育成に貢献してまいります。

記

1. 日 時 (1) 令和5年12月8日（金） 11：10～12：50
(2) 令和5年12月8日（金） 15：10～16：50
2. 場 所 (1) 関西学院大学 神戸三田キャンパス（三田市）
(2) 関西学院大学 上ヶ原キャンパス（西宮市）
3. 科目名 ハンズオン・プラクティス
(担当教員 ハンズオン・ラーニングセンター 向井光太郎 准教授)
4. 内 容 当金庫の設立経緯や信用金庫の社会的使命、地域団体との連携や企業への課題解決支援事例を題材に組織と個人の多様性の両面から個人や組織のあるべき姿を討論
5. 講 師 大阪シティ信用金庫 専務理事 畑中一起
総務部広報室次長 吉成良輔
6. 受講生 関西学院大学の学生 各40名



畑中専務から学生への問題提起



役職員と学生が白熱討論

以 上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

